JMA 一般社団法人日本能率協会

オンライン セミナー

高速で成長するチームをつくる

これからの時代のリーダーシップ開発コース

参加対象
- 各部門のリーダー（主任・係長）および管理職
- チームを活性化したい方
- DX 時代のリーダーシップを身に付けたい方

開催日時 ［時間］10:00 ～ 17:00

2026年 10月22日㈭～23日㈮

2027年 3月16日㈫～17日㈬

開催日時 Zoom による配信

講師紹介（敬称略）

奥田 和広

株式会社タバネル 代表取締役
一般社団法人日本能率協会 専任講師

大阪府大阪市出身。1975年生まれ。一橋大学商学部卒業。上場ファッションメーカー、化粧品メーカー、組織コンサルティング企業を経験。最大170人のマネジメントに携わる。自らのマネジメントとコンサルティング経験に基づき、成長企業の共通項OKRを用いた組織コンサルティングを行う。

著 書
「本気でゴールを達成したい人とチームのためのOKR」

参 加 料

法人会員…114,400円（税込）／1名

会 員 外…126,500円（税込）／1名

ねらい

企業を取り巻く環境は変化のスピードを増し、これまでの経験や成功パターンだけでは成果を出し続けることが難しくなっています。こうした環境下では、トップや一部の管理職の判断だけでなく、現場のチームが活性化し、主体的に価値を生み出していくことが不可欠です。

そのため、チームの方向性を示し、メンバーが安心して意見を出し合い、力を発揮できる環境を整える役割が求められています。チームの心理的な土台を整えたうえで、高速で成長できる状態をつくることが、これからのリーダーシップの重要な要素となっています。

本コースでは、これからの時代に成果を出し続けるリーダーに必要な心理的安全性を基盤に「目標設定力」「問題発見力」「チームワーク力」「メンバー育成力」「自己変革力」を体系的に学びます。

特長

1. 心理的安全性を土台に、メンバーが力を発揮し、高速で成長するチームをつくるためのリーダーシップを身に付けます。
2. 目標や方向性を描き、チームのベクトルを揃えながら、変化の中でも成果につなげていけるリーダーを目指します。
3. 対話や関わり方を通じて、メンバーの主体性と成長を引き出すコミュニケーション力を養います。
4. ケーススタディやグループワークを通じて、現場で活かせる実践的なリーダーシップを修得します。

参加者の声

- リーダーシップ開発について体系的に理解することができ、明日から実践できる内容を習得することができた。
- リーダーシップを発揮する為の方法論についての説明から入って、実際のリーダーとしての振る舞いについて説明することで、全体で筋の通った講義になっていて、非常に分かりやすかった。
- リーダーとしての考え方をまとめていくために、言語化することや、学んだことのフィードバックをする場を設けることは大切だと思いました。
- 自分自身が実践してきた事も含め、言語化する事でより意識が高まりました。人に明確に伝える事の重要性や、興味を持つ事、また、発信力も大切だと思いました。今まで、自分の考えを発言してた事が、相手の望んでいる事とベクトルが合っているか、しっかり相手の立場に立って、考えを聞き込みたいと思います。
- 全体を通して自分の固執した考えから脱却できた点が良かった。部下の育成には 4 段階があることを初めて知りました。成熟度と関与度について、その度合いを変化させていくことが重要だということを学べてよかったです。

プログラム

［時 間］10:00～17:00 ＜昼食時間 12:00～13:00＞

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

1日目

(1) イントロダクション
：これからの時代に求められるリーダー像
- リーダーの役割の変化と期待
- 環境変化を成長の機会に変えるためのアップデート
- リーダー 人が正解を出す時代から、チームの可能性を最大化する時代へ

(2) 心理的安全性：チームの力を引き出す土台づくり
- なぜ今、心理的安全性が重要なのか
- 率直な意見交換がチームの成果につながる理由
- 心理的安全性を高めるには？ グループワーク

(3) 目標設定力：ビジョンの構想と浸透
- チームのベクトルを合わせるビジョン
- ビジョンを目標に落とし込む
- 変化を前提とした俊敏な（アジャイル）運用サイクル

(4) 問題発見力：問題解決から問題発見へ
- そもそも問題とは何か？
- 問題と課題を整理し、本質を捉える視点
- 問題解決を超えて問題発見が求められる理由
- チームの問題を発見する ケーススタディ

2日目

(5) チームワーク力：挑戦と学習を回し続けるチームづくり
- 時代もチームワークも変化し続ける
- 挑戦と失敗から学習するチームへ
- 失敗から学習するチームの振り返り ケーススタディ

(6) メンバー育成力：メンバーの可能性を最大化する
- 傾聴、質問によるメンバー理解
- フィードバックによる行動変容の促進
- 1on1 ミーティングの実践ポイント ロールプレイング

(7) 自己変革力①：自分の意思をもって、周囲を動かす発信力
- リーダーとして、組織の内外に対して発信する
- 方針や意思決定の背景を整理し、分かりやすく伝える重要性
- 周囲を動かす発信のポイント グループワーク

(8) 自己変革力②：リーダーとして変わり続ける
- フォロワー経験の振り返りから学ぶリーダーシップ
- リーダーシップの起点はつねに自分
- 持論を磨き続ける グループワーク

(9) まとめ
- 2 日間の振り返り　明日から何を実践するか？　質疑応答

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会 関西事務所

E-mail：jma-kansai@jma.or.jp TEL：06-4797-2050 https://www.jma.or.jp/kansai/

●申込・セミナー詳細は

JMA151672 検索